学校番号	２１３

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「最新情報Ⅰ」（実教出版）						
副教材等	基礎から始める情報リテラシー　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は、実技（実習・課題作成）と座学（教科書内容）を行います。毎時間、教科書等を忘れずに持ってくるようにしてください。
・自ら調べ、考え、意見を述べることができるよう、プリントやキーワード、キーフレーズに着目し、探究してください。
・実技は、限られた時間内で一定の課題があります。共通の説明をしっかりと聞き、自ら積極的に課題に取り組んでください。
・ひとつひとつの積み重ねであるので、欠席が多いと限られた時間内で行うことが難しくなるため、授業に出席して積極的に取り組んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し，技能を身に付けているとともに，情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。
【思考力、判断力、表現力等】
事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用している。
【学びに向かう力、人間性等】
情報社会に主体的に参画する態度を養い、情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章 情報社会と私たち	1 情報社会 情報社会と情報 情報の特性 情報のモラルと個人に及ぼす影響	a: データ、情報、知識の意味と相互の関係について説明することができる。 b: SNS の活用など、不特定多数を対象としたコミュニケーションの注意点を挙げることができる。 c: ネット依存等、情報化が個人に及ぼす影響について考え、自らの情報活用について振り返り、改善方法しようとしている。	定期テスト	定期テスト プリント ワークシート	プリント ワークシート
		2 情報社会の法規と権利 知的財産 情報の利用と公開 個人情報の保護と管理	a: 知的財産権の概要について説明することができる。 b: 著作物を法にしたがって適切に利用する方法を説明することができる。 c: 知的財産を適切に活用し、インターネット等で調べようとしている。	定期テスト	定期テスト ワークシート	ワークシート 観察
		3 情報技術が築く新しい社会 社会の中の情報システム 情報技術と課題解決	a: POS システム、電子マネー、電子決済の仕組みを説明することができる。 c:社会の中の情報システムについて、興味や関心を持っている。	定期テスト		プリント 観察
	第2章 メディアとコミュニケーション	3 情報デザインの実践 文書の作成 プレゼンテーション Web ページ	a: 文書の基本的なレイアウト、文字のフォントやスタイルなどについて理解するとともに、実際に報告書やレポートを作成したり、プレゼンテーションのためのスライド等の資料を作成することができる。 b:プレゼンテーションソフトを用いてわかりやすいスライド資料を作成し、適切かつ効果的にプレゼンテーションを行うことができる。 c: 説得力のあるプレゼンテーションを行うため、スライドの作成やリハーサルに取り組み、フィードバックを行いながら、よりよいプレゼンテーションになるよう粘り強く準備を進めている。	課題作品	課題作品 発表 振り返りシート	課題作品 発表 振り返りシート 観察
2学期		1 メディアとコミュニケーション メディアの発達 メディアの特性 コミュニケーションの形態 インターネットのコミュニケーション	a: メディアの機能について説明することができ、文字、図形、音声、静止画などの各表現メディア、情報メディア、伝達メディアの特性についてそれぞれ説明することができる。 b: コミュニケーションの形態や特性を考え、コミュニケーションの目的に	定期テスト	定期テスト ワークシート	ワークシート プリント 観察

			沿った方法を選択することができる。 c: 自らのメディア活用について振り返り、より効果的な表現や情報伝達ができるように改善しようとしている。			
		2 情報デザイン 社会の中の情報デザイン 情報デザインの工夫	a:Web アクセシビリティ、ユーザビリティの意味について説明することができる。 b: 情報バリアフリーやユニバーサルデザインについて、身近な例を挙げることができる。 c: 効果的なコミュニケーションや問題解決のために、主体的に情報を整理したり、わかりやすく伝達したり、操作性を高めたりする努力をしようとしている。	定期テスト	定期テスト ワークシート	ワークシート
	第3章 システムとデジタル化	1 情報システムの構成 コンピュータの構成と動作 ソフトウェアとインターフェース	a:コンピュータの構成や計算の仕組みについて説明することができる。 b:コンピュータの計算の仕組みについて、順序立てて説明することができる。 c:コンピュータが計算する仕組みについて興味・関心を持ち、粘り強く理解しようとする。	定期テスト	定期テスト	ワークシート
		2 情報のデジタル化 アナログとデジタル 2 進数と情報量 演算の仕組み 数値と文字の表現 数値の計算 音声の表現 静止画と動画の表現 情報のデータ量	a:論理回路による演の説明、2 進数・10 進数・16 進数を相互に変換でき、音声や画像のディジタル化するための原理を説明することができる。 b:2 進数・10 進数・16 進数を用い、目的に応じて適切に情報量を表現できる。圧縮率から圧縮効率を判断することができる。 c:データ量の計算について関心を持って取り組もうとしている。	定期テスト 確認テスト	定期テスト 確認テスト プリント	プリント ワークシート
	第4章 ネットワークとセキュリティ	1 情報通信ネットワーク ネットワークの構成 情報通信の取り決め Web ページとメールの仕組み 転送速度とデータ圧縮	a:通信方式の種類やその違いについて、インターネット通信の階層構造、各プロトコルの働きについて、 IP アドレス、ドメイン名、ルーティングの基本的な仕組みや働きについて説明することができる。 b:目的に沿って、LAN を構成する情報機器の接続を適切に考えることができる。 c:インターネットの仕組みやサービスに興味・関心を持ち、問題の解決に	定期テスト	定期テスト ワークシート	ワークシート

			向けて、個人あるいはグループでネットワークの活用について検討しようとしている。			
		2 情報セキュリティ 脅威に対する安全対策 情報セキュリティの確保 安全のための情報技術	a:情報セキュリティの３つの基本的な考え方について、メッセージの送受信、デジタル署名、電子認証などに応用されている暗号化の方式と仕組みについてそれぞれ説明することができる。 b:マルウェアや不正アクセスなどの情報セキュリティの脅威に対する対策について適切に判断し、対処することができる。 c:暗号化などの理解のもと、安全に情報を送受信するための仕組みを実際に活用しようとしている。	定期テスト	定期テスト プリント	プリント ワークシート
	第5章 問題解決とその方法	1 問題解決 問題解決 問題の発見 問題の明確化 解決案の検討 解決案の決定 解決案の実施と評価	a:問題の発見、分析、解決、整理、解決の評価について理解する。 b:それぞれにおいて、適切に選択し、検討のための資料作成ができ、最適な解決案を決断して決定できる。 c:問題解決の結果を振り返り、積極的に自己評価や相互評価を行い、改善を図ろうとしている。		ワークシート	ワークシート
		2 データの活用 データの収集と整理 データ分析と表計算 データの可視化 データ分析の手法 データベースとは	a:表計算ソフトで統計処理に用いる関数を活用してデータを処理することができる。 b:問題解決の目的に応じて、データをグラフ等で適切に可視化して表現する力がある。 c:問題解決のためのデータ活用に関する取り組みを、データ分析の方法や分析結果の妥当性について、自己評価や相互評価で振り返り、改善しようとしている。	実習課題	実習課題	実習課題
		3 モデル化 モデル化とシミュレーション モデルの分類 モデル化の手順 モデル化の手法 モデル化をする時の注意	a:モデル化の基本的な手順について説明することができる。 b:モデル化の目的を明確にして適切にモデルの構造を決定し、モデルを数式などで表現することができる。 c:作成したモデルに対し、目的を達成しているかの観点でモデルの改善に努めようとする。		小テスト ワークシート 振り返りシート	ワークシート 振り返りシート 観察

		4 シミュレーション シミュレーションの実際 モンテカルロ法 モデル化とシミュレーションによる問題解決	a:シミュレーションの意義や方法について説明することができる。 b:表計算ソフトの関数を適切に選択・活用して、確率的モデルのシミュレーションをいくつか実行することができる。 c:表計算ソフトで実施したシミュレーションを再計算したり、パラメータを変更して再度シミュレーションを行ったりするなど、試行錯誤してシミュレーションの結果を分析し、評価しようとしている。	実習課題	実習課題	実習課題
3学期	第6章 アルゴリズムとプログラミング	1 プログラミングの方法 アルゴリズムとその表記 プログラミング言語	a:フローチャート、アクティビティ図、状態遷移図の描き方を理解し、アルゴリズムの基本制御構造（順次、選択、反復）の違いについて説明することができる。 b:基本制御構造（順次・選択・反復）を適切に用いて、簡単なアルゴリズムを表現できる。 c:プログラミング言語に興味を示し、実際に自ら活用している。	小テスト ワークシート 振り返りシート	小テスト ワークシート 振り返りシート	ワークシート 振り返りシート 観察
		2 プログラミングの実践 プログラミングの実践 関数を使用したプログラム 探索と整列のプログラム	a: 変数を使用して選択構造や反復構造のプログラムを作成することができる。 b: 問題解決のアルゴリズムにしたがって、基本制御構造を使用して適切かつ効率的にプログラムを作成することができる。 c: 問題解決のためのアルゴリズムを考え、粘り強く試行錯誤しながらプログラムを作成することができる。	小テスト 課題作品	小テスト 課題作品 発表 ワークシート 振り返りシート	課題作品 発表 ワークシート 振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度